

| | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|---|-----|------|----|---------|---------|-----|--|-----|------|
| 事業所名 | | 放課後等デイサービス Ananすまいる | | | | 支援プログラム | | 作成日 | 2026 年 | 1 月 | 28 日 |
| 法人（事業所）理念 | | 子ども達一人ひとりの個性を大切にし、ご家庭や学校と連携しながら子ども隊の成長を見守りながら、未来へ繋がる療育を目指す。 | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 専門家の意見や経験に基づくだけでなく、家庭に寄り添いながら一緒に考える療育を大切に考えています。共に生活していく中で家庭の思いをお大切にしながら、限られた時間の中でより有意義な療育の提供できるように努めます。 | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | | 9 時 | 30 分 | から | 17 時 | 30 分 | まで | 送迎実施の有無 | | あり |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 基本的な生活スキルの習得…微細運動を通じ指先や手首の力加減・操作力を学び、お箸・鉛筆・身支度（更衣）の獲得。場所を構造化し身の周りの片づけや整理整頓の習慣化を身に付ける。一日のスケジュールを提示し時間を自ら意識しながら行動することでリズムを整える。調理活動で調理器具の使用方法などを学び自立に繋げる。 | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 屋外や屋内での体育活動の中で、集団活動や個々の課題によって様々な感覚を刺激する。（触覚・視覚・聴覚・固有感覚・前庭感覚など）環境の構造化で聴覚過敏の拝領。 | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 個人スケジュールで自己選択・意思決定支援につなげ見通しを持って自主的に行動できる。絵カードやタイマー・音楽を使いスケジュールの管理を個人個人ができるようにする。 | | | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 言語だけでなく表情や絵カードなど個々に合った方法で伝える力を習得し、意思疎通につながる非言語コミュニケーション支援。発音訓練や文章構成など S S T で伝える力、聞く力、読み解く力を学び、人とのやり取りをスムーズにするスキルの向上。場面に応じた要求や気持ちの伝え方をプロンプトやワークシートで学びながら支援。 | | | | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | 集団での活動や遊びでルールを理解させ、社会性のスキルを習得する。具体的な生活場面に応じたコミュニケーション技術や課題対処法を学び、人間関係において相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように一緒に考える。 | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 家庭での困りごとに対する相談支援。 延長サービス。 年2回のモニタリング・面談等。 | | | | | 移行支援 | | ライフステージに応じた進路選択に向けて本人・保護者の意向を確認しながら支援を行う。事業所以外の学校や支援先も連携し、地域社会への参加を目指す。 | | |
| 地域支援・地域連携 | | 地域の関係機関と情報共有、情報交換を行い、役割分担をしながら他機関とも連携して支援していく。 | | | | | 職員の質の向上 | | 月1回の支援者研修と新人研修等各年代別に合わせた研修、法人・事業所での講師を招いてのセミナー等を年間を通じて行う。毎日職員間での情報共有と支援方法の確認を行う。 | | |
| 主な行事等 | | 季節に合わせたイベントを行う。（クリスマス・子供の日等）祝日や長期学校休業日に外部施設などに出掛けたり、外部講師を招きダンスや体作りなどを提供している。様々な体験や経験ができることを常に考えている。 | | | | | | | | | |